

## 今月の 16 首

佐佐木幸綱・選

山道を抜ければ宇曾利の湖<sup>うみ</sup>が見え風の強さを波に見ており  
いのちとは己<sup>おの</sup>が意思にてなるものと信ずる者を見き忘れけり  
吉野川にススキの揺れる道の際一匹のタヌキ息絶えており  
点検は正装をしてのぞみをり怠惰に流るるをいましめむとして  
何よりも妻の不機嫌怖がつてもうすぐ父になる先輩は  
息を呑む、ゆつくり蕊<sup>いのち</sup>を差し入れむ、金色のズツキーニの雌花に  
丸まつて落ちてるシャツを拾ふとき月のひかりに手が照らされる  
それぞれが過ぎした日々を確かに十七回<sup>しちじゅうかい</sup>集う一夜は  
快適な眠りの地求めゴロゴロと吾子は転がりわれ追いかける  
鍵二つ返せばすべて終はりたりたつた二人の三年間は  
明日来る予定の人が急に来て本当の今日がどこかへ逃げた  
親しげに車掌の車窓に手を振りて勤務を終える朝の駅員  
名前記し許しを乞うて母を訪うちさき束縛いつも感じて  
大糸線始発電車を待ちながらゆるゆる白む山とわたしと  
始末書の癖のある字のそばに立つ主語に小さくがんばれと言つ  
秋の空思考は孤独ブランコの試行錯誤の毎日である

青山 仁	権間 和歌	坂口 弘	鎌田 由紀	奥村 知世	尾上 宏	萩野 聰	矢代 朝子	吉本万登賀	増田満美子	渡部 栄子	堀 亜紀	倉石 理恵	東條 尚子	浅野 稔
------	-------	------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------